

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	01
事業名	家庭教育推進事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(2)	一人ひとりが尊重される社会・地域ぐるみの子育て環境の実現
目的	将来を担う子どもたちの健全育成のため、学校・家庭・地域が連携し、すべての教育の基である家庭教育を充実・発展させること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座 ※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあいファミリーフェスタ ※ふれあいまつりで小、中学校PTAと協働契約により開催する。
現在における経過又は課題	講座や体験教室に同じ受講者が参加するなど、新たな参加者が増加していかない。他の部局と同様の事業があるなど事業が重複している傾向がみられる。		
平成24年度の目標又は改善策	事業が重複しないよう、他の部局と連携を密にするようにする。アンケート調査等で得た情報を基に、更に住民ニーズを吟味し、事業の展開を図る。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（5月～8月）
7	日間賀島親子自然体験教室開催及びアンケート調査
10	後期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（11月～2月）

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・ ・
H26 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	1,221	2,031	1,397
(内特定財源)		千円	373	355	325
人工	職員	人工		1.1	0.4
	臨時職員	人工		0.2	0.2
	計	人工		1.3	0.6

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
家庭教育活動参加者負担金	325	
合計	325	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	10-5-1-(03)-13 委託料	580	△345	家庭教育推進事業開催委託料 親子ふれあい事業開催委託料

■特記事項

平成23年度より独立した組織となった「生涯学習のまちづくり実行委員会」へ家庭教育推進事業等を委託することにより、これまで町が直接委託していた事業分の経費を減額すると同時に、内容をより充実したものにする事ができた。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

実施する講座や体験教室に参加する方が固定化してしまう傾向があるため、広く、多くの方が参加しやすいような周知方法や内容について検討し実施した。

他の部局と同様の事業があるなど事業が重複している内容について、目標と目的を明確にしながら再度確認し、事業の効率的な実施について検討した。

■ 評価

毎回の事業実施ごとに実施するアンケート結果等を活用しつつ、周知方法や事業内容について毎回検討を重ねているところであり、参加者からは概ね好評価を得ている。今後も参加者があまり固定化していかないように更なる工夫を凝らしていく。

他の部局との連携については、事務局間の執務上の場所的・時間的な隔たりもあり、連携・調整の進みが遅れている。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	02
事業名	生涯学習活動推進事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を進めるため、各団体の独立及び事業拡大を目指すこと。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興（芸能文化事業） ・学校支援地域本部事業 ・文化協会支援 ・成人の集い実行委員会支援 ・リフレッシュリゾート施設利用助成 ・生涯学習のまちづくり事業委託 		
現在における経過又は課題	<p>大口町文化協会は、会員の高齢化が進んでいるが、協会の独り立ちが期待されている。学校支援地域本部事業のより一層の事業拡大。</p> <p>リフレッシュリゾート助成事業の検討</p>		
平成24年度の目標又は改善策	<p>協会の独り立ちができるよう、協会内で事務員の確保を目指す。</p> <p>学校支援地域本部事業が一層拡大するよう、あらゆる方面への事業のPRを実施。</p> <p>事業の実施内容及び実施主体の再検討。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	大口町文化協会補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
6	生涯学習のまちづくり事業委託契約 町NPO団体と協働委託契約を締結 芸能文化事業の展開（6月～2月） ・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス&ミュージック
7	大人の集い実行委員会立ち上げ 事業の展開（8月～1月）
1	大人の集い開催 リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付（4月～3月）

□3年間の目標

項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標
目標	・ ・					

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・ ・
H26 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	9,652	17,142	16,391
(内特定財源)		千円	0	786	686
人工	職員	人工		1.1	0.6
	臨時職員	人工		0.3	0.2
	計	人工		1.4	0.8

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
特別教室開放施設使用料	20	
学校支援地域本部事業費補助金(国費)	343	
学校支援地域本部事業費補助金(県費)	343	
合計	706	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	10-5-1-(04)-13-14-1 芸能文化事業開催委託料	1,160	△340	芸能・文化事業の開催委託

■特記事項

近年、大口町登録NPO団体等が芸能や文化的事業の開催委託を多く受託するようになってきた一方で、文化協会の活動での芸能・文化事業の開催委託が減少傾向にあり、また、文化協会の実施する芸能・文化事業については、補助金内での実施が多くなったこともあり、開催委託料の減額となった。

■目標又は改善策に対する取組内容

大口町文化協会の独り立ちについては、協会内での事務局員の確保が最重要課題であるが、それにこだわることなく、まずは協会事務の一部について外部団体へ委託することで協会独立の第一歩とした。

学校支援地域本部事業については、ボランティア登録数もますます多くなり一定の広がりを見せつつあるが、いまだ周知不足の面もあり、より一層の事業拡大のための事業PR活動に努めた。

リフレッシュリゾート助成事業のより一層の活用について、対象施設の拡大も視野に入れつつ、現在対象となっている地域との連携についても積極的に取り組む。

■評価

文化協会の独立に向けた足掛かりとして、協会事務の一部をまちづくり団体へ事務委託したことにより、文化協会とまちづくり団体との大きな連携が生み出され、今後の文化協会独立への大きな第一歩となった。

学校支援地域本部事業が国からの大きな評価をもらうなど、その活動については一定の評価が得られている。また、多くの参加者からこの活動が自らの生きがいがづくりの場として活用されているとの声が寄せられ、この事業の大きな成果となっている。

対象施設の拡大については、どのような場所、施設をどのような方法で助成していくかの検討を始めた。対象地域との連携についても積極的な取り組みに努めた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	3
事業名	生涯学習講座事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設しながら、個々の教養や技術を習得すること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期講座 ※前期、後期に分け、主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に1講座6回程度開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・旬の講座 ※その時々にあわせて1講座1回から3回程度開催する。	
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が求める講座や教室は、多種多様になってきており、講座や教室の内容の選定に苦慮している。多くの参加を見込める講座等を企画する必要がある。他の部局と同様の事業があるなど事業が重複している傾向がみられる。 		
平成24年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査で得た情報を基に、更に住民ニーズを吟味し、新たな講座等を企画していく。事業が重複しないよう、他の部局と連携を密にするようにする。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期生涯学習講座の受付及び事業展開（5月～8月）
10	後期生涯学習講座の受付及び事業展開（11月～2月）
	* 事業の展開と共に、新たな講座等を企画していく。

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	.
H26 年度	.

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	1,266	1,649	1,589
(内特定財源)		千円	92	200	77
人工	職員	人工	0.9	0.9	0.6
	臨時職員	人工	0.6	0.2	0.2
	計	人工	1.5	1.1	0.8

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
社会教育講座受講料	77	
合計	77	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

受講者へのアンケートや多方面での聞き取り、民間業者により各所で実施されている講座の情報収集、他市町村で実施されている講座の状況や内容、近隣大学で実施されるオープンカレッジ等の内容把握等により多種多様な住民の学習要求に応えられるよう、常に準備に努めている。また、他の部局と同様の事業があるなど事業が重複している内容について、目標と目的を明確にししながら再度確認し、事業の効率的な実施について検討する。

■ 評価

「生涯学習基本構想」の基本的目標キーワードである「学びを創る」「学びに集う」「学びをつなぐ」という考え方により、特に講座については「誰でも、いつでも、気軽に学べる」を基本として、講座内容の選定を行っており、今後の人材育成や生きがいがいづくりにつながっているものと考えている。教育委員会以外の部署や町登録NPO団体等が実施している講座や教室との実施時期や内容の調整については、事務局間の執務上の場所的・時間的な隔たりもあり、連携・調整の進みが遅れている。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	4		
事業名	生涯学習施設管理事業（文化施設）				
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む		
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進		
目的	<p>町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、教養や技術を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。</p>				
事務内容	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 <p>※外注分は協議・契約・履行確認</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業 </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 <p>※外注分は協議・契約・履行確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 <p>※外注分は協議・契約・履行確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業 				
現在における 経過又は課題	<p>開館からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在している。</p> <p>平成7年度に実施した耐震診断において「疑問あり」と診断されていることについて、耐震補強工事等を実施し、耐震化を図らなければならないと考えている。</p>				
平成24年度の 目標又は 改善策	<p>修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応していく。</p> <p>耐震化については、平成24年度中において、耐震補強工事の補強等基本設計を作成し、平成25年度以降に実施設計、工事を実施することとしたい。</p>				

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
6	耐震補強工事基本設計の入札
H25 3	耐震補強工事基本設計作成完了 * 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	.
H26 年度	.

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	51,811	57,234	62,401
(内特定財源)		千円	3,065	3,764	8,884
人工	職員	人工	0.9	0.9	0.7
	臨時職員	人工	0.3	0.3	0.2
	計	人工	1.2	1.2	0.9

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	98	
中央公民館使用料	3,084	
施設利用負担金	452	
社会資本整備総合交付金	5,250	
合計	8,884	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-2-(03)-13-5 設計監理委託料	10,500	10,500	耐震補強工事基本設計書作成委託

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

開館からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在しているが、修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応した。

耐震補強工事を実施し、耐震化を図らなければならないことについて、平成24年度中に耐震診断及び耐震補強についての基本設計を作成した。これを基に平成25年度中に耐震補強工事及びそれに合わせて実施する改修工事の実施設計書を作成し、平成26年度以降耐震補強工事を実施していく。

■ 評価

耐震化については、平成24年度中において、耐震診断と基本設計を作成した。平成25年度以降に実施設計、工事を実施することで中央公民館の避難所施設としての位置づけが可能となる。国からの補助金を活用することで、町の費用負担も抑えつつ施設のさらなる有効活用が図られるものと期待している。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	5
事業名	町民会館管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、教養や技術を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用者対応 ・設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> ・支払処理 ・消耗品等の補充 ・除草等清掃作業
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・開館からすでに20年以上経過しており、施設内設備が老朽化してきた。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分もいくつか存在しはじめている。 ・ステージ照明用調光卓がメーカーの部品供給終了により、今後修繕不能な状態となっている。施設の運用も含めた調光卓の更新の是非を検討しなければならない。 		
平成24年度の 目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応していく。 ・施設の運用も総合的に勘案し調光卓の更新または改修について方向づける。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。 * 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。
9	調光卓の更新についてメーカーや利用者等の意見を徴収する。（4月～9月） 調光卓の更新または改修について検討し結論づける。（新年度予算編成までに）

□3年間の目標

目標	.					
項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	.
H26 年度	.

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	18,495	19,318	19,931
(内特定財源)		千円	2,141	2,894	3,156
人工	職員	人工	0.9	0.9	0.2
	臨時職員	人工	0.3	0.3	0.0
	計	人工	1.2	1.2	0.2

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	1	
町民会館使用料	2,195	
施設利用負担金	960	
合計	3,156	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

開館からすでに20年以上経過しており、施設内設備が老朽化してきた。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分もいくつか存在しはじめているが、修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応した。

ステージ照明用調光操作卓がメーカーの部品供給終了により、修繕不能な状態となっていることについて、施設の運用も含めた調光卓の更新の是非を検討した結果、調光操作卓の更新工事を平成25年度中に実施することとして、調査・準備を進めた。

■ 評価

施設の運用も総合的に勘案しステージ照明用調光操作卓について更新を決定した。現状の設備を最大限活用できるような更新工事となるよう調査し準備を進めたことにより、平成25年度当初に工事が実施でき、施設利用者に不安なく設備を活用いただける施設維持ができると期待している。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	06
事業名	社会体育振興事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	暮らしの中に「体育」を取り入れるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室開催 ・スポーツ大会開催 ・体育協会支援 ・スポーツ少年団支援 		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員事務
現在における 経過又は課題	<p>子供むけの事業については、総合型地域スポーツクラブであるNPO法人ウィル大口スポーツクラブが実施する事業で補完できている。</p> <p>健康のために運動する方は、多くなっているが、スポーツとなるとまだまだ少なく、大人向けのスポーツ教室を実施しているが、ニーズに合わず、なかなか参加者が増えない。</p> <p>団体支援では、自分たちだけの活動が中心のため、多くの人を巻き込める事業を増やしていきたい。</p>		
平成24年度の 目標又は 改善策	<p>子供むけの事業については、現状どおりウィル大口スポーツクラブと協働で事業を進めていく。さらに大人の事業についても同様の取り組みを実施していく。</p> <p>教室では、スポーツ推進委員を中心にターゲットを絞った教室を計画をしていく。また、行政やNPO団体の教室を把握し、連携の取れた教室の実施を進める。</p> <p>団体支援では、自分たちの視点で団体を見直し、自らが中心となる団体として支援する。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	各団体補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催
12	愛知駅伝参加
3	桜並木健康ジョギング開催 ・スポーツ推進委員会議は毎月1回開催 ・スポーツ教室は年度当初に企画し、夏以降に開催

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・ ・
H26 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	9,151	11,080	10,581
(内特定財源)		千円	552	527	965
人工	職員	人工	1.0	0.8	0.6
	臨時職員	人工	0.5	0.2	0.2
	計	人工	1.5	1.0	0.8

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
学校開放施設使用料	950	
スポーツ教室受講料	15	
合計	965	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	10-6-1-(03)-13-12-1 スポーツ大会開催委託料	930	△570	地区別ソフトボール大会 桜並木健康ジョギング開催委託

■特記事項

桜並木健康ジョギングの内容が近年安定し、開催委託する内容が毎回、同様の内容となってきたことに伴い、予算を減額することができた。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

健康のために運動する方は、多くなっているが、スポーツとなるとまだまだ少なく、大人向けのスポーツ教室を実施しているが、なかなか参加者が増えない。教室では、スポーツ推進委員を中心にターゲットを絞った教室を計画した。また、行政やNPO団体の教室を把握し、連携の取れた教室の実施に努めた。

■ 評価

子供むけの事業については、ウィル大口スポーツクラブにより事業が進められており、多くの参加者からも好評価をいただいている。

教室では、スポーツ推進委員が中心となって教室を計画をし実施しているが、まだまだ住民のニーズがつかみ切れていないのが現状である。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	7
事業名	温水プール管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	<p>市民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで市民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との協定締結 指定管理者と連携を密にとり施設の管理・運営について、確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営が指定管理者に委ねられたが、開館からすでに30年近く経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在しており大規模な修繕が必要な箇所も存在している。 		
平成24年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、適切な対応がとられているか慎重に見守っていく。 施設については、大規模な改修が必要な箇所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。 排水設備の一部及び空調設備の一部について改修工事を実施する。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	指定管理年度協定締結
10	空調設備改修工事、排水設備改修工事の実施。 年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	.
H26 年度	.

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	36,784	45,605	47,367
(内特定財源)		千円	150	160	160
人工	職員	人工	1.0	0.9	0.3
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.0
	計	人工	1.1	1.0	0.3

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	160	
合計	160	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
温水プール設備改修工事 (15 工事請負費)	6,621	△729	排水管工事・ガス管工事・空調ダクト補強工事・高窓排気改修工事

■特記事項

平成 23 年度は、塩素タンク更新工事を実施した。(3,675 千円)

平成 24 年度も施設の老朽化対策及び延命のため、建屋地下へ漏水している排水管の改修工事・ガス事業者より依頼されているガス管更新工事・空調ダクト落下防止のための補強工事・高窓の作動不良の取替改修工事等を積極的に実施していく。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

施設の管理運営が指定管理者に委ねられたが、開館からすでに30年近く経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在しているが、修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応した。

今年度は、施設引き込みガス管、排水設備一部及び排煙窓設備について改修工事を実施し、プール室窓ガラス飛散防止フィルム貼り及び空調ダクト補強工事を実施した。

■ 評価

施設の管理運営については、指定管理者が実施しており、平成24年度の間接評価においても概ね適正な管理運営であるとの評価を得た。

施設については、積極的な改修工事及び災害時等への対策も実施し、利用者が安心・安全で快適に利用できるよう施設の維持に努めている。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No. 8
事業名	グラウンド等管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理以外の設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認・支払処理 		<ul style="list-style-type: none"> 消耗品等の補充 除草等清掃作業
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を導入している施設と町が直接管理・運営している施設があるが、いずれの管理方法においても一長一短があり、今後の施設管理の在り方を検討する必要がある。 		
平成 24 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営が指定管理者に委ねられている施設については、適切な対応がとられているか慎重に見守っていく。 町が直接管理・運営している施設については、最小の経費で最大の効果が得られるように職員自らが施設の維持管理作業も行いつつ、利用者の要望に応えられるよう管理・運営していく。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>指定管理者制度導入施設の年度協定締結 屋内運動場等の年間保守点検業務等の契約締結</p> <p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。 大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 						
	項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	48,551	50,242	52,733
(内特定財源)		千円	2,272	1,950	1,965
人工	職員	人工	1.0	0.9	0.4
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.0
	計	人工	1.1	1.0	0.4

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	527	
スポーツ施設使用料	802	
特別養護老人ホーム負担金	600	
旧北小学校跡地広場管理協力金	36	
合計	1,965	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
施設管理委託料(13委託料)	5,165	1,355	屋内運動場日常管理等施設除草作業増加分として
野球グラウンド芝管理委託料(13委託料)	2,643	1,843	芝生を適正に維持管理するために必要な目砂散布・抜根を含む除草・施肥等

■特記事項

適正な施設維持管理をするため職員も積極的に除草作業や剪定業務にあたってきたが、他の業務等の事務量も増加し、業者委託をしなければ適正に施設の維持管理ができない状態が続いている。施設は老朽化するものであり、快適で安全な施設を住民に提供をしていくためには、今後も維持管理費の削減は、非常に困難であるとする。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

指定管理者制度を導入している施設と町が直接管理・運営している施設があるが、グラウンド等の体育施設においては、指定管理者制度を積極的に導入することを検討したい。

各施設においては、利用者からの様々な要望にこたえられるよう町屋内運動場防球ネット設置、ライン引き直し等の改修工事や総合運動場の観覧席雨漏り修繕工事等を積極的に実施した。

■ 評価

総合運動場、秋田グラウンド、河北グラウンド、わかしゃち国体記念運動公園の施設管理運営については、指定管理者が実施しており、平成24年度の中間評価においても概ね適正な管理運営であるとの評価を得た。

指定管理者が管理運営している施設においては、積極的な修繕等により利用者が安心・安全に利用できるよう努力されているものと考えている。

町が直接管理・運営している野球グラウンド、町テニスコート、屋内運動場の施設については、職員自らが施設の維持管理作業も行いつつ、専門的な知識や技術が必要な場合においては、より適正な管理委託により利用者の要望に応えられるよう管理運営を行っている。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	09
事業名	野外活動施設管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 		
現在における 経過又は課題	<p>平成19年度から、地元住民の有志グループに日常管理を委託してきたが、大きなトラブル等もなく現在も同じグループに日常管理を委託している。</p> <p>開場からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在している。</p> <p>アスレチック施設については、木製であるので経年劣化が大きく、今後の施設の維持管理方針について検討する必要がある。</p> <p>キャンプ場の必要性について今一度検討する必要がある。</p>		
平成24年度の 目標又は 改善策	<p>施設の老朽化に対応するため、可能な限り早期の修繕を実施している。また、地元地域からの要望等にも早期の対応に心がけている。</p> <p>施設そのもの、特にキャンプ場の存在意義についても今後の検討課題としているが、施設利用者や地元地域の意見も踏まえつつ、施設の管理・運営をより良い方向に進めていく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

□3年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項 目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	3,810	6,353	7,859
(内特定財源)		千円	2	1	1
人工	職員	人工	1.0	0.9	0.2
	臨時職員	人工	0.1	0.1	
	計	人工	1.1	1.0	0.2

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
野外活動施設使用料	1	
合計		

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	遊具設置工事 (15 工事請負費)	3,150	3,150	アスレチック施設の一部更新

■特記事項

アスレチック遊具存続のために施設の修繕及び更新を積極的に実施することとした。ただし遊具の材質については、今後木製のものだけでなく多様な方法で対応していく。

キャンプ場については、これまでの利用状況の推移や今後の利用形態の変化をよく踏まえつつ、修繕等の対応を検討していく。

■目標又は改善策に対する取組内容

アスレチック施設については、木製であるため経年劣化が激しく、今後の施設の維持管理方針について検討した結果、平成22年度末に撤去した一部アスレチック施設については、鉄製施設とすることで今後の維持管理費等の適正化を目指した。

■評価

施設の老朽化に対応するため、可能な限り早期の修繕を実施している。また、地元地域からの要望等にも早期の対応に心がけている。

施設そのもの、特にキャンプ場の存在意義についても今後の検討課題としているが、施設利用者や地元地域の意見も踏まえつつ、施設の管理・運営をより良い方向に進めていくものとして、積極的なキャンプ場の利用方法等についても検討中である。